

上手に使おう 横浜の水
～健康と豊かな暮らしは 蛇口から～

横浜ウォーター株式会社がサウジアラビア国調査業務を受託！

～上水道・農業分野での水問題改善に向けて調査を開始～

横浜ウォーター株式会社はサウジアラビア国（以下：サ国）での本邦民間技術の活用可能性を分析し、今後の取組の方向性を検討します。

1 件名

JICA「サウジアラビア国節水・漏水対策、水質改善に係る情報収集・確認調査」

2 活動期間

令和3年5月6日（木）から令和4年2月28日（月）まで

横浜ウォーター㈱と横浜市水道局は以前より
サ国への支援事業を実施！本邦研修の様子

3 構成員

株式会社ワールド・ビジネス・アソシエイツ（代表者）

八千代エンジニアリング株式会社（構成員）※

株式会社三祐コンサルタンツ（構成員）

横浜ウォーター株式会社（構成員）※

※横浜水ビジネス協議会会員企業



4 主な業務内容

- (1) サ国の上水道及び農業分野における節水・漏水対策、水質改善に係る現状、課題、ニーズをリスト化
- (2) サ国の海外企業ビジネス環境に係る情報収集
- (3) 本邦民間企業の製品・技術に係る情報収集
- (4) 関心を有する本邦民間企業のサ国への派遣プログラムを企画・運営
- (5) 本邦民間技術の活用可能性を分析し、民間連携の可能性も含めた今後の取組の方向性の検討

サウジアラビア国は水消費量が年平均7%増加している一方で、年間降水量が59mmと非常に限られ、2080年には水源全体の82%を占める化石水*¹が完全に枯渇するとみられています。このため、**効率的な水利用による水消費量削減**が喫緊の課題となっています。水利用としては、サ国全体の水供給量のうち約80%が農業分野で使用されていますが、農業灌漑システムでの**漏水が約35%にも及ぶことから漏水対策も重要**となっています。

さらに、サ国では水資源のひっ迫に加え、帯水層*²の塩分濃度上昇、廃棄物処分場からの浸出液や未処理の工場排水等による**地下水汚染が発生**しています。

こうした節水・漏水対策、水質改善に関しては、本邦大手企業のみならず**中小企業も多くの技術やノウハウ、特許を有しており、本邦民間企業の課題解決への貢献ポテンシャルは高い**と考えられます。

このような背景から、本調査では、サ国の上水道・農業分野における節水及び漏水対策、水質改善に関する現状、課題、ニーズと本邦民間企業が有する**技術製品情報を収集**します。さらに、同国での普及を念頭に、同分野に関する課題への**民間技術活用可能性を分析し、今後の取組の方向性を検討**します。

*¹化石水：地下水流動に関与していない地下水で、再生不可能な資源。

*²帯水層：地下水で満たされた砂層等の透水性が比較的良く、地下水取水の対象となり得る地層のこと。

～横浜ウォーター株式会社は、横浜市の有する上下水道事業ノウハウを生かし、国内外の課題解決に貢献します～

お問合せ先

(国際事業に関すること)水道局事業推進部国際事業課長 米澤 陽子 TEL 045-671-3077
(プロジェクトに関すること)横浜ウォーター株式会社 広報室室長 酒井 洋 TEL 045-651-6100